子どもとおとなのための「土曜クラブ」

あなたの作品は？と聴かれると「ワークショップを作っています」と答えるマスダマキコさんが、C.A.P.のアーティストたちに声をかけて、それぞれの興味や得意な技術を活かしたワークショップのシリーズが始まります。子どももおとなも対象の「土曜クラブ」というこのシリーズ、ちょっと普通とちがいます。

Q：京都芸大では彫刻を専攻してたんですよね？
そうなんです。彫刻です。でも京芸の彫刻は、木彫とか石彫とか専門にこだわるよりいろいろなことをやってみるところだったんです。テーマがあってそれに向かってどうアプローチしていくかということをやっていたように思います。そんなことがワークショップをつくるという今の活動にきっと繋がっていると思います。

Q：ワークショップの設計はどんなところが面白いんですか？
もともと、もののはじまりに興味があって、そういうことって子どももおとなも興味がありますよね。例えばマッチを使うんじゃなくて火起こし器を作って実際に火を起こしてみるとか、綿花から糸を紡いでみるとか。そういうもともとの原点に興味がある。形のあるものよりも仕組みを作るのが好きなんですね。人と人がコミュニケーションする仕組みだったり、モノが動く仕組みだったり。

Q：例えば？
95年に神戸で「ドングリ銀行」というのをはじめました。これは子どもたちがどんぐりを集めて持って来ると苗木と交換する活動です。苗木は植樹してもらって、そういう緑の交換、緑化運動になってます。２００５年には六甲山牧場で羊の糞と彼らの餌になるクローバーの種ボールを交換する「ひつじ銀行」というのもやりました。

マスダマキコ
1960年東京生まれ。京都市立芸術大学彫刻科卒。神戸芸術工科大学教手。「チャンプラザ大阪」指導員などを経て、99年頃より、こども・アート・遊びをつなぐワークショップを多数展開。03年（森をよく見るためのドキドキ基礎計画）、05年二六目（山牧場ひつじ会議）、こどもC.A.P.（企画三号）、95年より緑の交換システム「ドングリ銀行神戸」の活動も開始。
C.A.P.メンバー・Goods Lab.Workshop代表・ドングリネット神戸代表、神戸こども総合造形学校講師、神戸市在住二児の母。

Q：こども向け？
実はわたしは子ども大好きっていうわけじゃないんですよ。自分の発想が子ども的なんでしょうね。どうも子どもと波長が合うみたい。目線が子どもなんだろうな。だからわたしのワークショップは全然教育的じゃないんです。土曜クラブの大きな特徴は、おとなも一緒に参加するということなんですけど、おとなが子どもに教えるんではなく、年齢や経験が違う種類の参加者が一緒に参加して発見しあったり感心しあったりすることがおもしろいんです。さすがおとなは正確につくるなあ、とか、こどもは躊躇がなくてすごいなあとか。２００４年におこなった綿を紡ぐ講座のときなんかは、この糸を紡ぐというのがすごく難しかったんですけど、小学５年生の女の子が抜群にうまくてね。みんなに紡ぎ姫って呼ばれてた。

Q：もういわゆる彫刻作品は作ってないんですか？
２０１０年に六甲ミーツアートというプログラムに参加して10年ぶりくらいに作りました。大きな手回しのオルゴールとかつくって山の中で来た人に回してもらったんです。人が来て、回したり転がしたりして山に音が響く作品です。

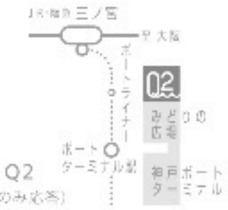
Q：土曜クラブ新たな出発？
C.A.P.としてワークショップを定期的に外に向けてやってみたいと思って。C.A.P.ならいろいろなアーティストがいるからそれぞれの個性に富んだプログラムが組めるかなと思います。あと、外に出かけて行く、例えば美術館のバックヤードツアーとか、淡路の鬼瓦の工房を尋ねるとか。教えるのではなく、体験を用意したいんです。そこからひとりひとりが何かを得られるということも大事にしたいですね。

Q：おとなも参加？保護者に望むことは？
子どものやる事を見守ってほしいですね。で、親も楽しそうと思ったらぜひ子ども放ったらかしでのめり込んで下さい。親が一生懸命作ったり遊んだりしてる姿を見て、子どももやってみたいって思うんじゃないかなあ？お互い自分にないものからなにか発見できたらなあ。
4月は、わたしとカワサキマキさんが講師になって、鯉のぼりならぬ龍のぼりをみんなで作ります。できるだけ長い奴。相当長くしたいんですよ。みなさんも一緒にあり得ないくらい長い龍のぼりを作りませんか？

CAP STUDIO Y3
CAP CAFE&SHOP y3

〒650-0003 神戸市中央区山本通3丁目19-8
海外移住と文化の交流センター内 Phone/Fax:078(222)1003

CAP CLUB Q2



〒650-0041 神戸市中央区新港町4-3 上屋Q2
Phone/Fax:078(959)7707（催し開催日のみ応答）

C.A.P. は、現在アーティストの公開アトリエを中心としたCAP STUDIO Y3、
芸術を媒介にコミュニケーションを広げるCAP CAFE&SHOP y3、
そしてさまざまな人が集う実験の場CAP CLUB Q2を拠点に、
アートが社会に活きるための様々な活動を企画・実行しています。

［STUDIO Y3 アトリエ・アーティスト］（2012年3月現在）
淺野夕紀、井筒麻未、井ノ岡里子、倉智敬子、坂井良太、桜井類、澤田摩耶、
田岡和也、藤山有城、藤川怜子、山村幸則

C.A.P.［芸術と計画会議］
〒650-0003 神戸市中央区山本通3丁目19-8 海外移住と文化の交流センター内
Phone/Fax:078(222)1003 開館10:00~19:00／月曜休館
info@cap-kobe.com • http://www.cap-kobe.com/

振替休館日のお知らせ：4月30日(月・祝)は開館、翌5月1日(火)が振替休館となります。